

第16回

Colloquium "Analysis and Generation of Structural Shapes and Systems 2021"

2021 コロキウム 構造形態の解析と創生

●開催趣旨

近年の建築の設計プロセスにおける 3D-CAD や BIM の利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の構造物の建設も可能にした。また、デジタル・ファブリケーションの技術が普及し、建築のデザインに大きな変化を与えつつある。実現可能な建築表現の自由度が急速に増すなかで、建築物の形態をどのように決定すべきかという問題について、今後更に深く考えていく必要がある。

本コロキウムは 2006 年度から毎年開催しており、今年で 16 回目を迎える。これまでに、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインといった建築構造物の形態を創り出すための理論・技術に関する研究や、実際のデザインへの応用事例などが数多く紹介され、活発な議論が展開されてきた。これらの理論・技術は一過性のものでなく、本質的なニーズの上に成り立った重要な建設技術であり、新しいコンセプトや最新のアルゴリズムなどを取り入れながら、議論を重ねて今後も発展させていく必要がある。

本年度開催する「第 16 回 コロキウム構造形態の解析と創生 2021」では、これまでと同様に形態創生の理論・技術に関わる研究者、技術者が一堂に会して最新の情報を交換すると同時に、理論・技術だけでなく、それらを具体的な建築物、プロジェクトなどに応用した事例紹介についても議論することで、これらの研究・技術分野が益々発展することを期待して開催される。

日時：2021 年 10 月 28 日(木)・29 日(金)

会場：1 日目 (形態コンテスト公開審査)

日本建築学会 建築会館ホール (ハイフレックス方式)

2 日目 (講演論文発表)

Web 会議システムによるオンライン方式

参加費： 建築学会会員 5000円、 学生 1500円、 会員外 6000円

参加登録： 日本建築学会HPの催し物・公募よりお申込みください。参加する個人ごとにお申込みが必要となります。

参加登録フォーム： <https://www.aij.or.jp/event/list.html>

申込み期日： 2021年10月25日(月)

●形態コンテストプレゼンテーション・公開審査

課題：『対(つい)』

オンラインとオフライン、個と群、単純と複雑、引張と圧縮や弾性と塑性のように互いの意味は異なるものの、一定の法則で関係性を持つ言葉があります。かたちに着目すれば、五輪・パラリンピックのエンブレムは、一見すると対極的な形状に見えますが、両者共にパーツ数は全く同じで、組み替えることでそれぞれのエンブレムができるようになっていると言われています。

形態創生コンテスト2021のテーマは「対(つい)」とします。一見するとバラバラなモノや概念から共通の関係性を見つけたり、建築を超え、領域横断するように、「対」が互いに触発することも可能でしょう。この「対」を自由に解釈し、魅力的な新しいカタチを提案してください。皆さまの積極的な応募をお待ちしております。

審査委員： 加藤 史郎

豊橋技術科学大学名誉教授
審査委員長

佐藤 淳

東京大学

舘 知宏

東京大学

鳴川 肇

慶應義塾大学

特別審査委員： 今川 憲英

東京電機大学名誉教授
TIS & Partners

野老 朝雄

美術家

プレゼンテーション・公開審査

10月28日(木)

15:30~18:40

●特別講演

今川 憲英 (東京電機大学名誉教授、TIS & Partners) 10月28日(木) 13:10~14:10

『Material Speaks を元にした、形態創生コンセプトとデザイン』

野老 朝雄 (美術家) 10月28日(木) 14:20~15:20

『個と群と律』

*本コロキウムの詳細につきましては、コロキウム構造形態の解析と創生2021のホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s49/index.htm> をご確認ください。

主催：日本建築学会

構造委員会 シェル・空間構造運営委員会：シェル・空間構造形態創生小委員会
構造委員会 応用力学運営委員会：構造最適化と協創小委員会